

関川村地球温暖化対策 会議

【議題 1】 ゼロカーボンシティ宣言 について

地域政策課脱炭素推進室



新潟県岩船郡
関川村



2024年3月21日

ゼロカーボンシティとは

環境省により、「2050年にCO₂(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを
目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体」を
「ゼロカーボンシティ」と定義。

ゼロカーボンシティの表明について(表明した自治体)

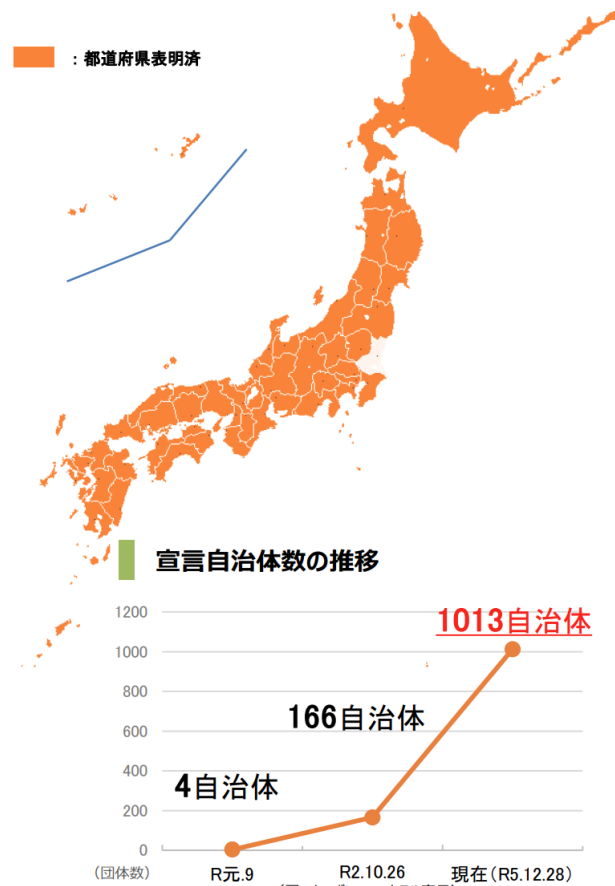
2

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体 2023年12月28日時点



■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする**1013自治体** (46都道府県、570市、22特別区、327町、48村) が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。

表明都道府県 (46自治体)



表明市区町村 (967自治体)

北海道	道中町 札幌市 二ツ子町 石狩市 稚内市 網走市 厚岸町 紋別町 網走市 稚内市 紋別町 網走市 稚内市 紋別町	青森県	八戸市 青森市 八戸市 青森市	秋田県	秋田町 雄物山町 秋田町 雄物山町	茨城県	水戸市 土浦市 水戸市 土浦市	群馬県	高崎市 高崎市 高崎市	東京都	多摩市 練馬市 練馬市 練馬市	神奈川県	横浜市長官舎	石川県	加賀市 小松市 小松市	長野県	上田市 上田市 上田市	静岡県	静岡市 静岡市 静岡市	三重県	志摩市 志摩市 志摩市	大阪府	枚方市 枚方市 枚方市	奈良県	生駒市 生駒市 生駒市	和歌山県	和歌山市 和歌山市 和歌山市	広島県	広島市 広島市 広島市	長崎県	長崎市 長崎市 長崎市	宮崎県	宮崎市 宮崎市 宮崎市
------------	--	------------	-----------------	------------	-------------------	------------	-----------------	------------	-------------	------------	-----------------	-------------	--------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	-------------	----------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------

- 新潟県**
- ・ 佐渡市
 - ・ 粟島浦村
 - ・ 妙高市
 - ・ 十日町市
 - ・ 新潟市
 - ・ 柏崎市
 - ・ 津南町
 - ・ 村上市
 - ・ 新発田市
 - ・ 胎内市
 - ・ 小千谷市
 - ・ 燕市
 - ・ 加茂市
 - ・ 上越市
 - ・ 長岡市

ゼロカーボンシティの表明について(概要)

表明方法

令和6年3月議会の施策方針において、村長が「2050年CO₂（二酸化炭素）実質排出ゼロ」を目指すことを報告済。

令和6年4月1日に宣言文をホームページに掲載し、表明する。

主な取組・施策

- ・今年度策定した地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）に「2050年CO₂（二酸化炭素）実質排出ゼロ」を目指すことを明記。
- ・脱炭素先行地域事業
 - ①公共施設や遊休地等の再エネ導入、既存施設の省エネ化
 - ②地域防災型マイクログリッドの導入事業
 - ③林業活性化・エネルギー高度利用化事業
 - ④EV導入による脱炭素交通事業
 - ⑤再エネ熱利用、ソーラーシェア等の多面的な脱炭素化事業
 - ⑥再エネを利用した豪雪対策事業

関川村ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素実質排出ゼロに向けて～

関川村は、新潟県の北東部に位置し、飯豊連峰や朝日連峰、楡形山脈に囲まれた盆地で、中央には清流荒川が流れている自然豊かな村です。荒川沿いには5つの温泉が湧き、「えちごせきかわ温泉郷」を形成しています。また、国の重要文化財「渡邊邸」をはじめとした18世紀の町並みが残り、生活の中に歴史がとけ込んでいます。

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発しています。当村においても、令和4年8月3日から4日にかけての記録的な集中豪雨により、浸水被害が発生するなど村民の暮らしに大きな影響を与えています。このまま温室効果ガスの増加が続けば、異常気象の増加や農産物の品質低下など、様々な悪影響を及ぼす恐れがあります。

そのため、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化し、豊かな自然を次世代へ引き継いでいく必要があります。

そこで、当村の豊富な自然エネルギー資源を活用して脱炭素化に取り組み、地球温暖化対策を通じて地域課題の解決につなげていきます。

村民の暮らしを豊かにし、持続可能なむらづくりの実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。



令和6年4月1日

関川村長 加藤 弘